

大学

企画課管理用 研 一 B 一 6

推進主体	学長室研究支援センター
責任者	学長室部長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
研	一	B	⑥間接経費の機能的支出への見直し	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容

令和21年度に本学があるべき姿＝ビジョンを実現するため、間接経費の機能的支出への見直しを行う。

【科研費研究成果展開推進事業】

(令和3年度より実施:本事業は間接経費で予算化するため、中長期計画への予算申請は行わない。)

1. 趣旨:科研費研究について、「学術トランスフォーメーション(学術X)型」や「社会課題対応型」の研究活動として成果展開し、研究機関全体の機能向上を目指す。

2. 対象事業

(1)[タイプA]学術トランスフォーメーション(学術X)型

① 学際・異分野融合研究:複合的な社会課題に対応するための学際・異分野融合研究

② 学術創成・学術変革研究:新たな学術の創成やこれまでの学術領域を変革させる研究

(2)[タイプB]社会課題対応型

① SDGs 対応:国連の定める持続可能な開発目標への課題に対応する研究を支援

② Society5.0 対応:サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させる研究

③ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応:感染症関連研究(人文・社会・自然科学全分野)

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

学術X型や社会課題対応型の研究事業を各年度において5つ創出する。令和3～5年度にかけて実施し自己点検を行い、対象事業の見直しを行う。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定	→ → → → 事業実施	→ → → →	→ → → → 自己点検、見直し	→ → → →	→ → → →	→ → → →	→ → → →
				→ → → → 点検結果に基づく事業実施	→ → → →	→ → → →	→ → → →

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	新規研究事業の創出	学術X型や社会課題対応型として認定された研究事業数					
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標	設定せず	5	5	5(見直し有)	5(見直し有)	5(見直し有)	5(見直し有)
実績		4					
2							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
（ 2022年度 ） 令和4年度	5月：研究者へ周知（教授会、対象者個別通知） 6月：申請問い合わせ対応 7月：申請受付締切 8月：申請内容確認 9月：研究支援センター運営委員会審議・決定 10月：交付内定通知、予算化、予算執行 2月：執行状況確認（繰越申請受付） 3月：実施状況報告	5月：研究者へ周知（教授会、対象者個別通知） 6月：申請問い合わせ対応 7月：申請受付締切 8月：申請内容確認 9月：研究支援センター運営委員会審議・決定 10月：交付内定通知、予算化、予算執行 →以上まで実施済み。 2月：執行状況確認（繰越申請受付） 3月：実施状況報告 今後の課題は年度末に総括予定。 ★進捗段階：「実施展開」
（ 2023年度 ） 令和5年度	令和4年度同様に実施予定。	
（ 2024年度 ） 令和6年度		
（ 2025年度 ） 令和7年度		
（ 2026年度 ） 令和8年度		
（ 2027年度 ） 令和9年度		